

鉄道ピクトリアル

1961年5月号 Vol. 11 No. 5



カラー写真 臨時新「いでゆ」
表 紙 「南千住界隈」

グラフ

いまは昔日光線の D51	伊藤 昭	7
八幡製鉄所の蒸気機関車[1]	八幡製鉄所工作設計課	8
スエーデン・ノルウェー国鉄の車両	中村彰宏・速水育三提供	10
戦後の私鉄記念乗車券[1]	長谷川弘和	12
大井川を渡る	長友 俊明	37
大井川鉄道の車両[1]	棚橋 宏	38
晩春の甲斐路	西野 保行	40
関ヶ原付近を訪ねて	高松吉太郎・野口昭雄	42
東武鉄道の電車[4]	花上嘉成・野尻泰彦・宮松金次郎・宮沢孝一	44
トピックフォト		69~73
わだいのくるま(92)急行用液体式ディーゼル動車キハ27形		74

記事

今月の話題「営団地下鉄日比谷線（南千住一仲御徒町）開通」	3	
戦後の私鉄記念乗車券[1]	長谷川弘和	4
八幡製鉄所の蒸気機関車[1]	中島 宏	13
36年度の国鉄車両計画について	久保田 博	19
五日市線の電車化はどのように	山下 恒彦	22
五日市線の想い出	中川 浩	24
新設 DC 準急“あさま”試乗記	瀬古 竜雄	27
続貨車のさまざま[4]	国鉄・K.M.生	30
食堂車物語[完]	卯之木十三	33
鉄道の話題		36
東武鉄道の電車[終]	青木栄一・花上嘉成	45
大井川鉄道（井川線）	棚橋 宏	53
切手に見る各国の鉄道[21]	荒井 誠	59
改正された 国鉄の車両称号規程について	久保田 博	62
質問に答える		64
読者短信		66
営団日比谷線・部分開通	T 記 者	68
車両の動き		75
3月のメモ帖		76
TTKだより・後部車から		76

今月の話題

営団地下鉄日比谷線 (南千住一仲御徒町) 開通

営団地下鉄最大のホープ日比谷線の一部南千住一仲御徒町間3.7キロ（建設キロ4.5キロ）建設キロとは部分開通する地下鉄に特に用いられる用語）が3月28日に開通した。この新線は、さる2月8日の荻窪線新宿一新中野間3キロと同支線中野坂上一中野富士見町間1.9キロ計4.9キロに引きついで開通、営団としては開通キロは短かいが、ゲージは1,067mの狭軌で、全車両にパンタグラフ付のステンレスカーを採用するほか「高周波連続誘導式自動列車制御装置」(ATC)などはじめ、づくめの装置のため実質はとにかく角力の入れ方は相当なもので、荻窪線のときはなかった記念乗車券の発売など、ちょっとした開通ムードを出した。

34年5月8日着工、約1年11ヵ月の工期は必らずしも早い方ではないが、建設キロ4.5キロのうち地上線部は約1.5キロと4分の1で、河底こそ横断しないが千住付近は名だたる低地盤のため、不測の出水に備えて高架線としたことや上野付近では銀座線と立体交差するなどの難工事で、総建設費76億5,000万円、1キロ当たり17億円となった。

この開通により、同線は上野で銀座線と連絡し、来年3月には北千住一人形町間8.9キロが開通すると、東武鉄道と直通乗入れを行ない、都営地下鉄とも人形町で連絡し、さらに将来日比谷線が中目黒まで東京オリンピックの39年春に完成すれば、東急東横線とも直通乗入れを行なうなど、4社の相互乗入れという史上初めての輸送体制ができる。

表紙「南千住界隈」 高松吉太郎
36-3-25（開業3日前）
ミノルタオートコード ロッコール F3.5
絞 f5.6 1/400